

# 【PowerPoint】 作成の際の小技集

- アウトライン機能 … p. 2
- 編集画面を黒くする … p. 5
- 画像の背景を消す … p. 7
- 発表者ツールのノートの印刷 … p. 10
- アニメーション … p. 13

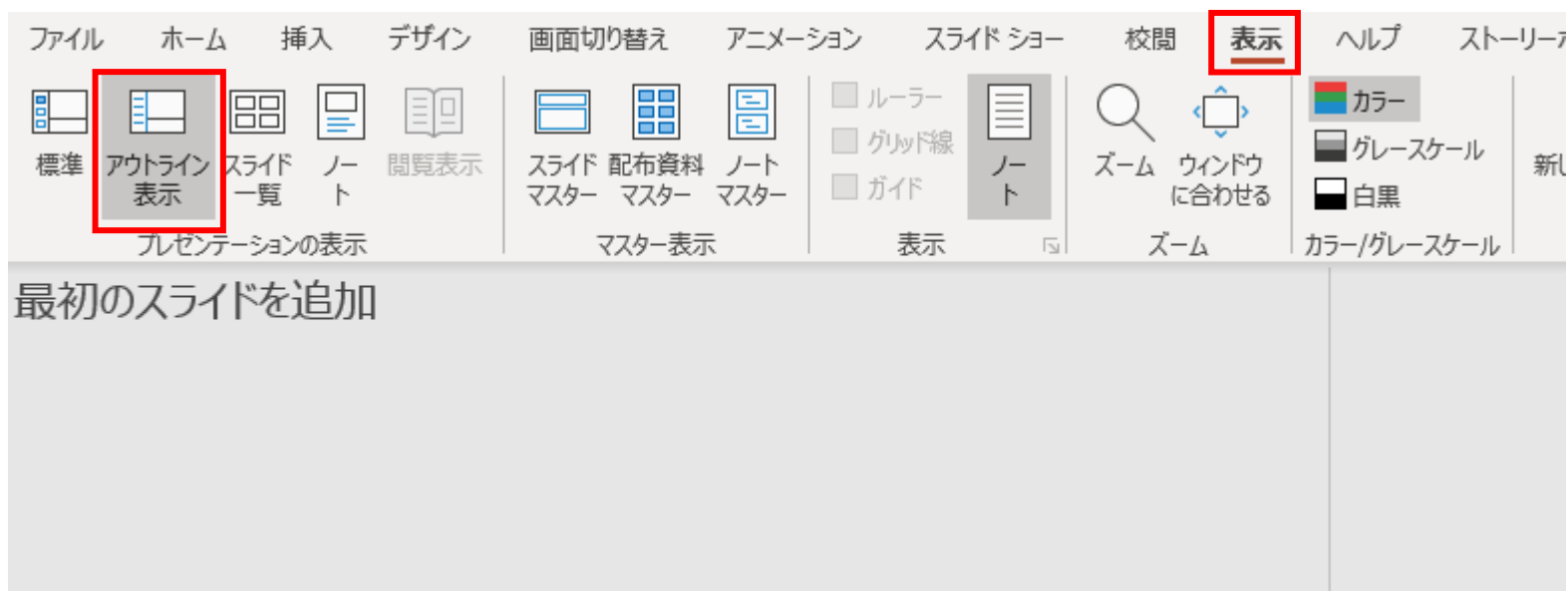
アウトライン機能

【PowerPoint】

# アウトライン機能 1

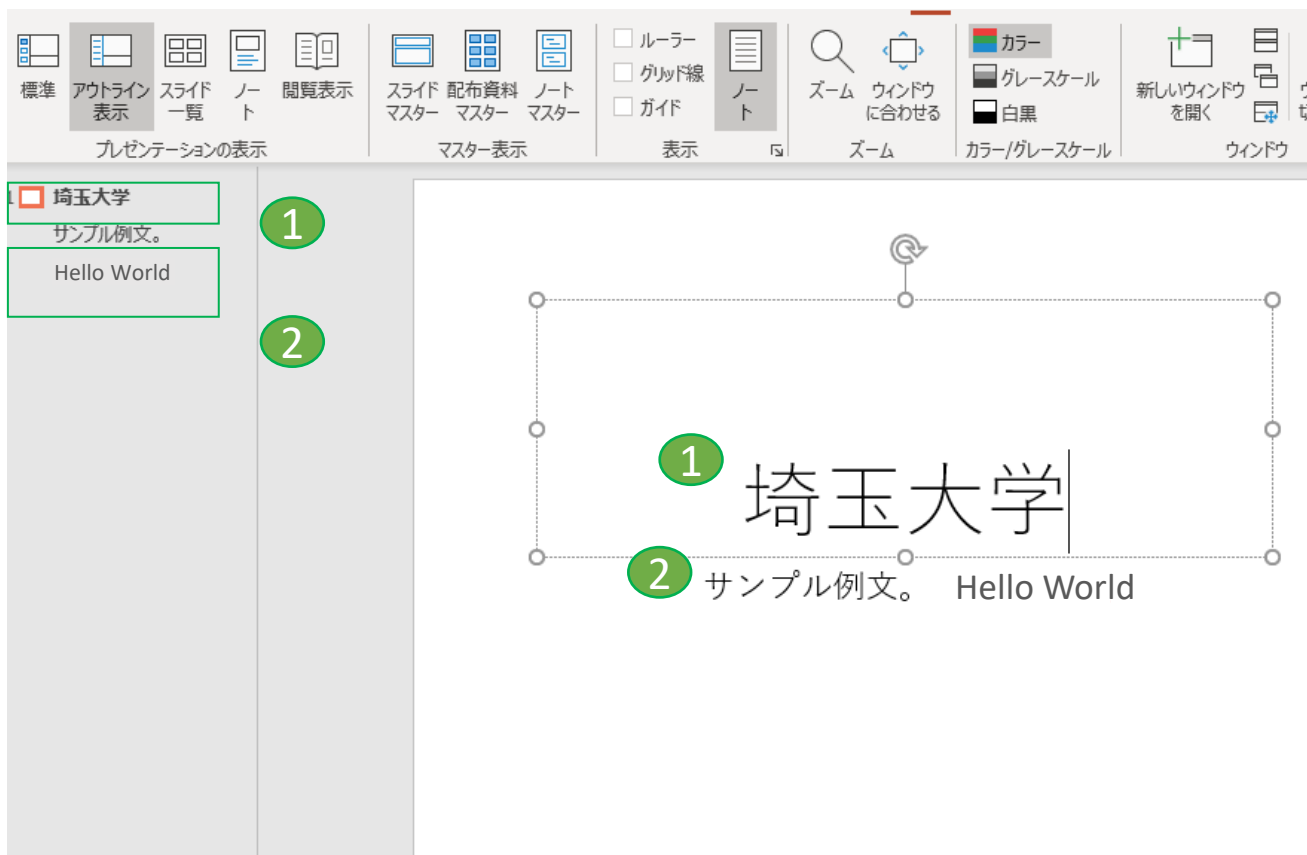
資料作成はいきなり 1 ページ目から作成するより、まず骨組みとなるアウトラインから作成したほうがスムーズです。

1. 「表示」 -> 「アウトライン表示」 をクリック



## アウトライン機能 2

- 1.各ページのタイトルを入力します。
2. 「Ctrl」 + 「Enter」 で各ページの本文を入力します。  
「Shift」 + 「Enter」 で改行します。



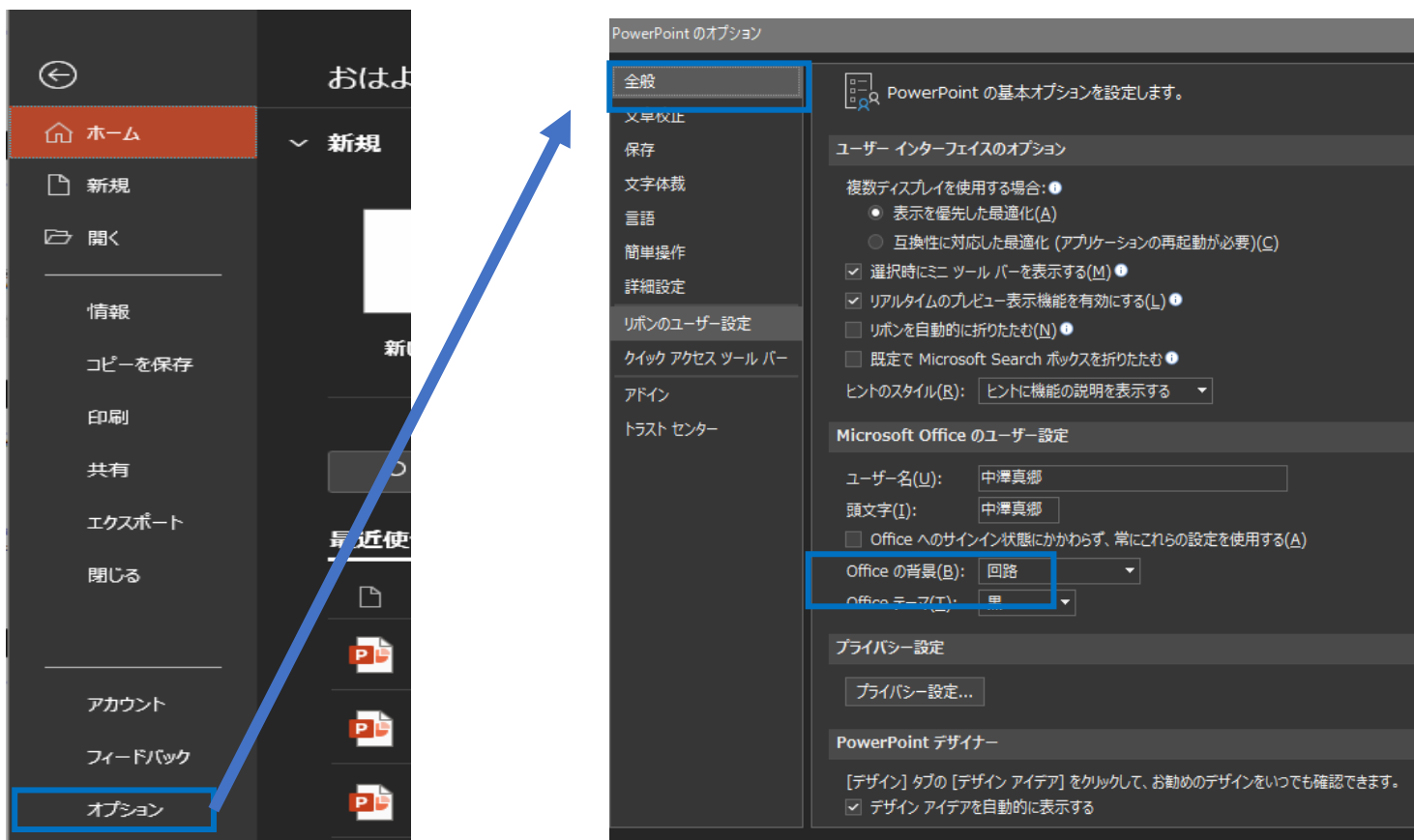
編集画面を黒くする

【PowerPoint】

# 編集画面を黒くする

長時間パワポを編集していると目が疲れてくることがあります。  
そんな時は画面を黒くできます。

「ファイル」->「オプション」->「Officeテーマ」で黒を選ぶ



# 画像の背景を消す

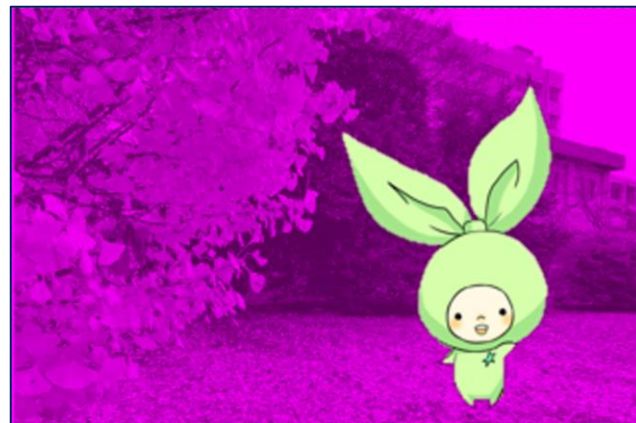
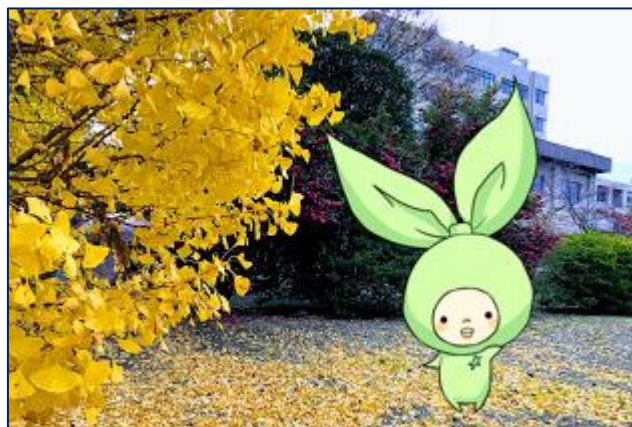
【PowerPoint】

# 画像の背景を消す 1

1. 編集したい画像をクリックし「図形の書式」を選択
2. 背景の削除をクリック

背景と認識された領域が紫色になります。

間違っている領域は手動で調整できます。





## 画像の背景を消す 2

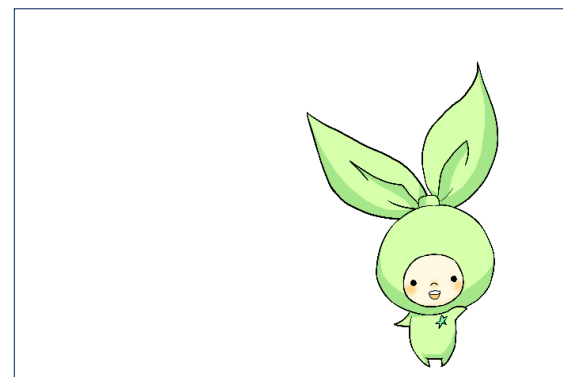
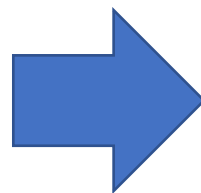
3. 「保存する領域をマーク」で背景以外の領域を選ぶ



4. 「削除する領域をマーク」で背景の領域を選ぶ



「変更を保持」



# 発表者ツールのノートの印刷

【PowerPoint】

# 発表者ツールのノートの印刷 1

プレゼンの際、紙の資料としてノートを持っておきたい場合もあるかもしれません。

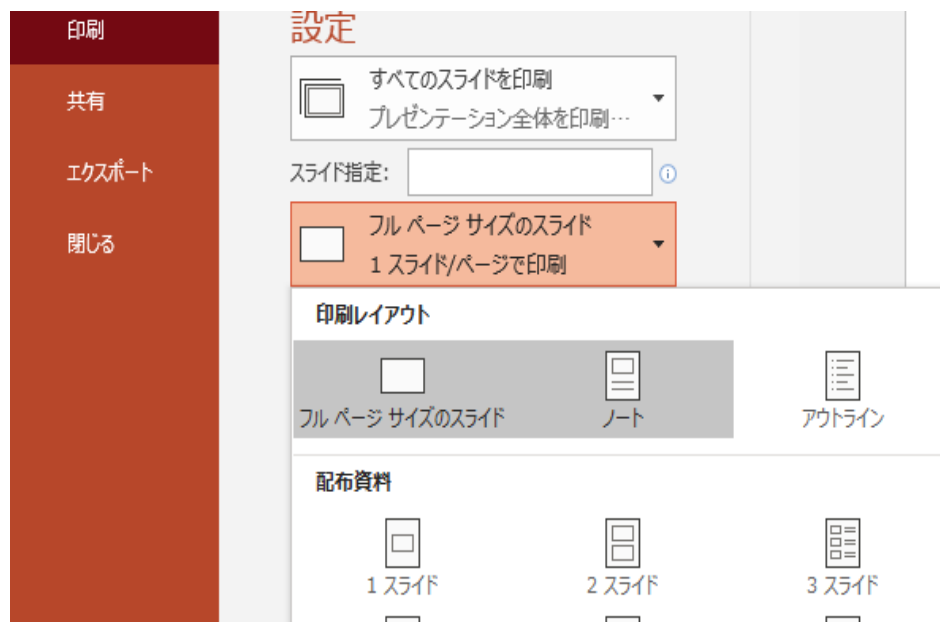
- ① 「ファイル」 -> 「印刷」 -> 「フルページサイズのスライド」 をクリック



## 発表者ツールのノートの印刷 2

② 印刷レイアウトで「ノートを選択」

③ プリントアウトすれば完了



アニメーション

【PowerPoint】

# アニメーション 1

プレゼンの場ではアニメーションの多用は推奨はされていませんが、視覚的に必要ならばシンプルに使用することは効果的です。

## アピール

アニメーションの中で最もシンプルなものです。ここではこれを紹介します。

## 基本設定

- ① アニメーションを設定するオブジェクトを選択
- ② 上タブから「アニメーション」タブを選択し、アピールをクリック
- ③ 「アニメーション」タブのプレビューをクリックすると、番号順に再生される



## アニメーション 2

### 表示の順番変更

- ① 対象のオブジェクトを選択する
- ② 「アニメーション」タブの右の「順番を前にする」「順番を後にする」で変更

### 複数を同時に表示

- ① 表示順が1番目のオブジェクトを選択する
- ② 「アニメーション」タブの右の「開始」をクリック時に設定する



- ③ その他の同時に表示したいオブジェクトの「開始」を「直前の動作と同時」に設定する

# アニメーション 3

## 表示の順番変更

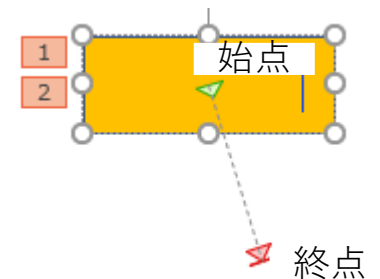
オブジェクトが画面上で指定した動きを設定できます  
直線・アーチ・ループなど様々な軌跡があります。

## 複数を同時に表示

- ① 対象のオブジェクトを選択する
- ② 「アニメーション」タブの「アニメーションの追加」をクリックする



- ③ 「アニメーションの軌跡」から「直線」をクリック
- ④ 始点・終点と軌跡が表示される
- ⑤ これらをドラックすることで、直線の起動を変更できる





# アニメーション 4

## 任意の線

- ① 「アニメーションの軌跡」から「ユーザー設定」をクリック
- ② アニメーションの始点をクリック。マウスの左ボタンキーを押しながら、オブジェクトをパス上にポインターを移動。アニメーションの最後の端点をダブルクリック。

